

センターだより

第75号

令和6年3月8日 発行

Aomori Prefectural School Education Center
青森県総合学校教育センター
〒030-0123 青森市大字大矢沢字野田80-2
☎017-764-1997 FAX017-728-6351

副所長あいさつ

副所長 野呂 政幸

平素より当センターの各種事業に御理解と御協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

さて、昨年5月に、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の取り扱いが5類に引き下げられ、感染症対策は個人の自主的判断と行動が基本となりました。これまで約3年以上にわたり、講座運営上の制約や施設の利用制限など、様々な御不便をおかけしましたが、改めまして皆様の御理解と御協力に感謝申し上げる次第です。

この間、教育現場や地域の状況に応じ、様々な研修形態を模索して参りました。これまでは集合型による対面での研修が当たり前でしたが、感染症拡大防止の観点からオンラインによるリモートでの受講が不可欠となりました。しかし、その一方で、実践的な演習、講師・受講者間のコミュニケーションや意見交換など、人財育成の観点から集合型による対面での研修の有効性と重要性を改めて認識することにもなりました。研修講座は、「校長及び教員の資質の向上に関する指標」や「青森県教員研修計画」を踏まえ、「目指す人財像」や「新たな教師の学びの姿」を明確にしながら、学校組織・運営の充実、これからの時代に対応した教職員の資質・能力の向上を目指し、適切な編成と運営となるよう努めており、対面による研修は極めて効果的であると実感した次第であります。

今年度の研修講座は、「“これからの社会を生き抜く力”を育む“教師力”の向上」をテーマに掲げ、158講座を開講し、延べ3,275名の教職員の皆様に受講いただきました。校務多忙な中、積極的に受講いただきましたことを、心から感謝申し上げますとともに、教職員一人一人の学び続けようとする向上心を、今後もしっかり受け止めたいと感じております。また、学校等の教育活動充実に向けた支援として取り組んでいる「校内研修等講師派遣事業」においては、申込み依頼のうち、146件に対し指導主事を派遣させていただきました。教育現場が抱える多様な教育課題の解決に向け、校内研修の活性化に寄与できたものと感じております。さらに「教科指導等サポート事業」においても、60件対応させていただきました。教職員個々の直接的な質問に対し、メールや電話等により適切な情報を提供させていただきました。今後も両事業に対し、気兼ねなくお問い合わせいただき、様々な課題の解決に向けた糸口を見いだす一助として、大いに活用いただければ幸いに存じます。

令和4年7月、「教育公務員特例法及び教育職員免許法の一部を改正する法律」の成立を受け、教員免許更新制は、新たな研修制度の実施により発展的に解消されました。そのガイドラインでは、個々の学校現場や教職員のニーズに即した「新たな研修システム」を整備し、教職員の深い学びを実現させるとともに、研修履歴を活用した資質・能力の向上に関する指導助言等について基本的な考え方が示されております。当センターとしましても、教職員の主体性・自律性に基づく、個別最適な学びと協働的な学びの実現に向け、新しい研修制度としての「研修履歴記録システム」を活用した研修の奨励等により、研修観の転換や教職員の学びが、これまで以上に学校改善、そして子供たちの成長に結びつくよう、教職員の皆様一人一人に“取りに来ていただける研修講座”の構築・運営に尽力していきたくと考えております。

これからも当センターは、青森県の子供たちの成長と未来を見据え、所員の心と力を結集して、全力で学校を支援して参りたいと考えております。今後とも何卒よろしくお願いいたします。

研修講座の実績

●研修区分別修了者数

【基本研修】

・初任者研修	(小学校、中学校、高等学校、特別支援学校)	計 919名
・新規採用教員研修	(養護教諭、事務職員、実習講師)	計 33名
・経験者研修	(フォローアップ研修、中堅前期研修、中堅前期・後期研修、中堅後期研修)	計 820名

【職務研修】

・職務研修Ⅰ	(校長研修、教頭研修、県立学校事務長研修、教務主任研修他)	計 377名
・職務研修Ⅱ	(中学校進路指導担当者研修、校内研修担当者研修他)	計 215名

【専門研修】

・教科研修	計 598名
・教科外研修	計 773名

今年度は、158講座を開催しました。これらの講座に対するアンケート集計の結果、「内容は分かりやすかったか」や「実践の参考になったか」について5段階評価の最高評価「5」と回答した受講者は8割おり、受講者にとって深い学びのある講座を提供できたと考えております。また、教科研修の8割の講座において、ICTを活用した演習等に取り組みました。

次年度は、令和の日本型学校教育の実現及びデジタル・シティズンシップ教育の普及に向け、ICTの効果的な活用に向けた講座を準備しております。更に、専門研修では、オンデマンド型研修（事前の動画視聴）を取り入れた講座を推進していきますので、皆様の受講をお待ちしております。

来年度予定されている新規講座の紹介

D30 ゼロから学ぶ！ iPad初心者講座	【講座概要】 現在、1人1台端末の導入により、業務や授業においてタブレット端末を活用する機会が多くなっています。しかし、iPadを使用している学校においては、iPad特有の操作性に不安を抱えている先生方も少なくないと思われます。そこで本講座では、はじめてiPadに触れる先生方を対象に、端末の基本操作や文字入力・カメラ・Webブラウザなどの標準アプリの使い方を中心とした研修を通して、端末を効果的に活用できるスキルアップを目指します。
6月5日(水)	【次のような先生方にオススメ！】 ○iPadの操作方法に不安を抱えている方 ○iPadの基本操作や標準アプリの使い方を習得したい方



D07・D08「『気になる子供』のかかわり方研修講座」は校種で幼・こ・小学校と中・高等学校の2つに分け、より教育現場でのニーズに即した内容で実施します。研修講座の詳細については、3月1日付で当センターホームページにアップしておりますので、そちらも御覧ください。



青森県総合学校教育センター
イメージキャラクター
アプセくん

校内研修等講師派遣事業の実績

令和5年度

派遣数 146件 受講者数 約3,275名

本事業を御活用いただき、ありがとうございました。

派遣校種・機関別内訳

小学校	34件
中学校	26件
高等学校	31件
特別支援学校	10件
教育機関	13件
研究会・協議会	32件

テーマ別内訳(依頼件数上位のもの)

授業力向上と授業改善	55件
授業におけるICT活用	18件
特別な配慮を必要とする児童生徒への支援	16件
児童生徒の理解のための調査法の活用(アセス)	10件
不登校への対応	10件
SOSの出し方教育	7件

アンケート結果(5段階評価平均値)

研修の構成は適切か。	4.88
研修の内容は分かりやすいか。	4.92
実践する上で参考になったか。	4.92

「不登校児童生徒に目を向けつつも、学校復帰できた児童生徒に注目し、それまでに至った背景や手だてについて共有していきたい。」「オンラインでの研修でしたが事前に資料なども準備していただき、大変参考になりました。」「動画をたくさん取り入れた講義でとても分かりやすかったです。」「理想を語られるだけの研修ではなく、現場を知っている講師による研修であるため、教えていただいていることの状況が想像しやすく理解しやすかった。」といった御意見・御感想をたくさんいただきました。実施後のアンケート結果から、校内研修等の目的を概ね達成できたと感じております。



学校サポート事業の担当者より

令和5年12月、NITS戦略の中で、学習観・研修観の転換が示されました。研修目標、研修内容、研修方法、この3つの観点を意識し、研修をデザインしていきます。校内研修のプログラム内容をブラッシュアップし、先生方に「求められる校内研修」を目指します。

〔講義資料の一例〕

授業力向上と授業改善

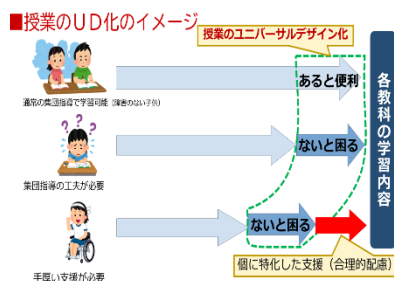
3. どうする!? 課題の設定

ファシリテーションの4つのスキル

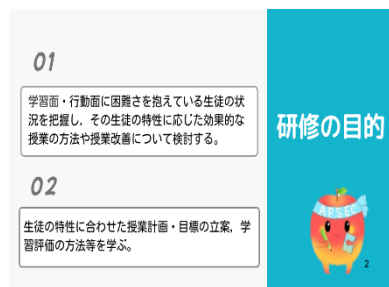
① 場のデザインのスキル ～場をつくり、つなげる～	・目的、目標を設定し、合意させる。 ・対話しやすい雰囲気をつくる。 ・一つ一つの役割を積み立てていく。
② 対人関係のスキル ～受け止めて、引き出す～	・軽重で安心感・信頼感を与える。 ・質問しながら意見を引き出す。 ・柔らかく主張して、話し合いを方向付ける。
③ 構造化のスキル ～かみ合せて、整理する～	・あいまいな主張を明確にする。 ・全体像をつかみ、多様な視点から議論させる。 ・図解を活用しながら、わかりやすくまとめる。
④ 合意形成のスキル ～まとめて、分かち合う～	・対立をチャンスととらえる。 ・適切な対立解消方法を選択する。 ・言葉の奥の真意を捉える。

※図解(学習指導要領) 2016年改訂版(平成27年) 2016年改訂版(平成27年) 2016年改訂版(平成27年)

授業のユニバーサルデザイン化



障害特性に応じた指導



令和6年度もオンラインによる実施が可能です。皆様からの御要望に応えられるよう準備を進めて参りますので、積極的に御活用ください。

